

原水協活動推進 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年9月9日 No.2

世界大会後最初の6・9行動各地で

日本原水協は9日、台風一過で青空が広がる上野公園で原水爆禁止2010年世界大会後初めての6・9行動を行いました。

核兵器のない世界にむけて国際社会が大きく動く中、核兵器保有国とアメリカの核政策に依存する日本政府の姿勢が大きく問われていると、核兵器全面禁止条約の交渉開始をもとめる署名への協力を呼びかけました。

栃木県足利市から遠足に来た中学2年生は、「原爆のことは1年の時に勉強した。いつか広島に行ってみたい」と集団で署名、中国人の親子は「みんな同じ屋根の下で暮らす方がいい。核兵器は危ないからね」と話していました。若いカップルは「毎年夏にテレビで被爆者のお話を見て、想像もつかない体験をしているのだと思った。核兵器は絶対はない方がいい」と力を込めて話しながら署名しました。

署名してくれた人には婦人民主クラブ会員の佐藤紀子さんが毎日折っている折り鶴2羽と「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」などと書かれた紙をヒモでつないだ“折り鶴ストラップ”（右写真）を手渡し、大好評でした。

行動には日本平和委員会、日本宗教者平和協議会、婦人民主クラブ、上野の森に広島・長崎の火を永遠に灯す会、東京原水協などから23人が参加し、1時間で144人から署名が寄せられました。



▲折り鶴ストラップ

被爆地でも宣伝、世界大会成果を報告—広島



▲署名を集める県原水協、被団協の人たち＝6日、広島市中区

広島県原水協（大森正信筆頭代表理事）と同被団協（金子一士理事長）は9月6日、広島市中区の福屋デパート前で「6・9行動」（核兵器廃絶と被爆者援護の署名・募金）の宣伝をしました。11人でビラを配り、秋の第65回国連総会へ提出する「核兵器のない世界を」の署名を集めました。

広島市原水協の中本康雄筆頭代表理事と県原水協の高橋信雄代表理事はハンドマイクで「先月開催された原水爆禁止2010年世界大会には国連代表をはじめ27カ国の政府・NGO代表と全国から、のべ2万人が集まり、被爆者とともに『核兵器のない世界』へ行動することを誓いました」と報告しました。

3歳の女儿を連れた主婦（34）＝広島市南区＝は「娘のためにも、核兵器が使われることのないようにしてほしい」と言って署名に応じました。

2011年ちひろカレンダー発送してます！

すでに1700本を超える注文のあった群馬県原水協は、カラーちらしが届いた直後、いつも大口注文のある所に案内を出し、電話を入れて注文を取っています。財政活動の一環として位置付け、普及に力を入れましょう。



最新情報はコチラ→原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。